

2016年 4月 25日

待機児童解消のために認可保育所の増設と

保育士の処遇改善等を求める要望書

日本共産党松戸・鎌ヶ谷地区委員会 委員長	横堀 渉
日本共産党松戸市議団	高橋 妙子
	宇津野 史行
	高木 健
	山口 正子
	平田 きよみ
日本共産党千葉県議会議員	みわ 由美
日本共産党千葉県女性部長	浅野 史子

日頃より待機児童解消のために努力されていることに敬意を表します。

この4月、保育所・保育施設の増設・整備によって国基準の待機児童はゼロということですが、入所保留児童は143人となっています。認可保育所の平均入所率が107%、最高で定員の145%となっています。また、認可保育所での面積基準緩和による定員拡大も進められています。さらに、小規模保育施設整備も急速に進められ、施設によっては災害時の避難経路に不安を感じる施設もあります。

子どもの成長・発達の権利を保障して、保護者が安心して預けられるために、公有地・国有地も活用した認可保育所整備が必要と考えます。

保育所・施設整備が進められる一方で保育士不足が深刻になっています。保育士の仕事にやりがいを持っていても、子どもの命を預かり子どもの成長・発達を守る専門職としての責任の重さや労働に対して、体調を崩したり賃金が低いために保育士の仕事を辞めるなど、深刻な保育士不足となっています。

以上のことから、次の4点について要望致します。

なお、日本共産党は、「保育所・待機児童問題への日本共産党の緊急提言」を公表しましたのでご参照ください。

記

1. 保育所整備にあたっては、子どもの発達・成長の権利を保障し、保護者が安心して預けられる認可保育所の増設を行なうこと。
2. 松戸駅近くの関東財務局相模台住宅跡地に認可保育所を整備すること。
3. 認可保育所や小規模保育施設は、子どもの安全や保育内容など保育施設への定期的な点検・調査を行なうこと。
4. 保育士の処遇改善を行なうためにさらなる松戸市独自の施策を行うとともに、県・国に対して要望を行うこと。